

ビジネス科学研究科 企業科学専攻（博士後期課程）

企業法コース

専攻共通科目（選択科目）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA011	企業科学共通科目I - ビジネスと法I -	1	1.0	1・2	通年	集中		小林 和子, 平嶋 竜太, 藤澤 尚江, 潮海 久雄, 大淵 真喜子	社会において法がどのように用いられるのかをいくつかの法領域について概説することによって理解を図るものとする。統一テーマは、「財産をめぐる法」。「物・権利と契約」, 「知的財産」, 「裁判手続・執行手続」の各分野について概説を行った後, 受講生各自が自己の関心にしたがって, 概説された各領域についての制度や事件(判決)を調べ, 最後に受講生全体の前で発表をした上で, 議論する	西暦奇数年度開講。02RB309と同一。
02FA012	企業科学共通科目II - ビジネスと法II -	1	1.0	1・2					社会において法がどのように基いられているのかをいくつかの法領域について概説することによって理解を図るものとする。統一テーマは, 「社会における法」。「労働・年金」, 「税制」, 「会社」の各分野について概説を行った後, 受講生各自が自己の関心にしたがって, 概説された各領域についての制度や事件(判決)を調べ, 最後に受講生全体の前で発表をした上で, 議論する。	西暦偶数年度開講。
02FA013	企業科学共通科目III	1	1.0	1・2	春A	±3, 4		久野 靖, 吉田 健一, 津田 和彦, 倉橋 節也, 大木 敦雄, 木野 泰伸	本講義はビジネスの現場で生じる事象を科学的に捉えるための知識を学習してもらうことを目的とし, 経営学, マーケティング及び情報学といったシステムズ・マネジメントの要素技術を最新の話題を講義することで学習してもらう。(奇数年度: 情報分野)	西暦奇数年度開講。
02FA014	企業科学共通科目IV	1	1.0	1・2					本講義はビジネスの現場で生じる事象を科学的に捉えるための知識を学習してもらうことを目的とし, 経営学, マーケティング及び情報学といったシステムズ・マネジメントの要素技術を最新の話題を講義することで学習してもらう。(偶数年度: 経営分野)	西暦偶数年度開講。
02FA015	企業科学共通科目V—会計と法—	1	1.0	1・2					現在, 国際会計基準理事会において会計基準の国際的統一化がすすめられていることに鑑み, 本講では国際会計基準の制定に大きな影響を与えている主要国の会計制度とその背景にある法制度の関連について検討を行う。	西暦奇数年度開講。2015年度開講せず。平成24年度までの会計と法と同内容

共通科目（必修科目）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA501	企業法特別研究I	4	1.0	1	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	院生が希望する「企業法研究」について, 研究方法を検討し, 研究方針を立てさせる。1年次に開講する。	
02FA502	企業法特別研究II	4	1.0	1	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	筑波大学大学院修士課程で提供されている「法文献学パート1」の知識を応用し, 我が国における過去の研究等を調査させ, 参考文献を収集・整理させる。1年次に開講する。	
02FA503	企業法特別研究III	4	1.0	1	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	院生の研究テーマに関連のある「外国法」について, 文献を調査させ, 資料を収集・整理させる。最後に, 博士論文の研究課題を確定させる。1年次に開講する。	
02FA504	企業法特別研究IV	4	1.0	2	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	主要参考文献(主に邦文)の講読を行い, 問題点を検討し, 博士論文の内容について推敲させる。2年次に開講する。	
02FA505	企業法特別研究V	4	1.0	2	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	主要参考文献(主に外国法)の講読を行い, 問題点を検討し, 博士論文の内容について推敲させる。日本法を中心とした比較的研究とするか, もっぱら外国法・国際法的研究とするか, この段階で決めさせる。2年次に開講する。	
02FA506	企業法特別研究VI	4	1.0	2	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	問題点ごとに検討を深め, 博士論文の全体構想を作らせる。最後に, 論文の中間報告を行わせる。2年次に開講する。	
02FA507	企業法特別研究VII	4	1.0	3	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	中間報告に基づいて博士論文の最初の草稿を作成する。その草稿を批判的に検討し, 不十分な点を補充させる。この部分では, 「法文献学パート2」の知識を応用させることになる。3年次に開講する。	
02FA508	企業法特別研究VIII	4	1.0	3	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	引用文献が適切かどうかを検討し, 院生の草稿全体にわたる見直しを行う。必要な手直しを行わせる。3年次に開講する。	
02FA509	企業法特別研究IX	4	1.0	3	通年	随時		企業法コース研究指導担当教員	博士論文の体裁等を見直し, 完成に向けて最終指導にあたる。3年次に開講する。	

共通科目（選択科目）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA510	現代企業法特殊講義	1	1.0	1 - 3	通年	集中			企業法分野における現代的課題のうち, 重要なトピックを取り上げて講義する。	非常勤講師・開講未定

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA511	スポーツと法	1	1.0	1-3	通年	集中			スポーツをめぐる法的問題を実際に直面している問題にも言及しつつ、オムニバス方式で検討する。スポーツ事故、スポーツと人権、スポーツと知的財産法、スポーツと契約などを取り上げる予定である。	非常勤講師・開講未定
02FA512	現代行政法	1	1.0	1-3	通年	集中			行政法の基礎を説明した後、いくつかの裁判例を取り上げて検討する。	開講未定

専門科目【企業のグローバル化分野】(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA601	アメリカ法	1	1.0	1-3	通年	集中			アメリカ法を概説する。	非常勤講師・開講未定
02FA602	イギリス法	1	1.0	1-3	通年	集中			イギリス法を概説する。	非常勤講師・開講未定
02FA603	フランス法	1	1.0	1-3	通年	集中			フランス法を概説する。	非常勤講師・開講未定
02FA604	ドイツ法	1	1.0	1-3					ドイツの民商法を中心として、ドイツ法の基礎的な法原理を概説する。また、企業法に関する重要な法律問題を重点的に論じる。	西暦奇数年度開講。2015年度開講せず。非常勤講師
02FA605	アジア法	1	1.0	1-3	通年	集中			中国法を中心とするアジア法について、とりわけビジネス法を主として概説する。	非常勤講師・開講未定
02FA606	外国会社法	1	1.0	1-3	秋B	水7,8		弥永 真生	2015年度は、ヨーロッパにおける会社法関連あるいは会計制度関連の外国語文献を講読する。	西暦奇数年度開講。
02FA607	国際租税計画I	1	1.0	1-3	春AB	土7		大野 雅人	国際課税法についての欧米の重要文献(英語)を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。
02FA608	国際租税計画II	1	1.0	1-3	秋AB	土7		本田 光宏	国際課税の最先端の問題(租税条約に関する問題を含む。)を論じている外国語文献を講読する。	西暦奇数年度開講。
02FA609	国際取引と国際私法	1	1.0	1-3	春A	木7,8		藤澤 尚江	国際取引において生じる問題を、国際私法の観点から検討する。本年度は、内国の規制と国際取引との関係に焦点をあてる。	毎年開講
02FA610	ドイツ法原典講読	1	1.0	1-3	通年	集中			ドイツ法についての基本的文献を講読する。	西暦奇数年度開講。開講未定
02FA611	イギリス法原典講読	1	1.0	1-3	通年	集中			イギリス法についての基本的文献を講読する。	開講未定
02FA612	フランス法原典講読	1	1.0	1-3	通年	集中			フランス法についての基本的文献を講読する。	非常勤講師・開講未定
02FA613	米国民事訴訟法	1	1.0	1-3					米国の民事訴訟法に関する文献を講読する。主に連邦裁判所を中心とする民事訴訟手続のアウトラインを理解することを目的とする。	西暦偶数年度開講。
02FA614	ドイツ民事訴訟法	1	1.0	1-3	春AB	土6		大淵 真喜子	ドイツの裁判制度、民事訴訟手続に関する文献を講読する。	西暦奇数年度開講。
02FA615	ヨーロッパ外書講読I	1	1.0	1-3	春B	水7,8		弥永 真生	EU法またはEUの構成国の法律あるいはその動向に関する文献を講読する。現時点では関連当事者間取引に関する英語またはドイツ語論文(場合によっては、その他の言語で書かれた文献)を講読する予定である。	西暦奇数年度開講。
02FA616	ドイツ法判例講読	1	1.0	1-3	通年	集中			ドイツ法についての基本的判例を講読する。	西暦奇数年度開講。開講未定
02FA617	外国証券法特殊講義I	1	1.0	1-3					近年の欧米における資本市場制度改革について検討する。SECの規則制定に関するリリースなど米国の資料を中心に取り上げるが、EUの法令等を素材とすることもあつた。	西暦偶数年度開講。非常勤講師
02FA623	外国証券法特殊講義II	1	1.0	1-3					米国及びEUの資本市場制度について、英語の文献を用いながら、日本法との比較検討を行う。	西暦奇数年度開講。2015年度開講せず。非常勤講師
02FA624	外国資本市場法	1	1.0	1-3	秋C	金7,8		木村 真生子	諸外国の証券規制に関する基礎的な文献を講読したり重要な裁判例にあたること等を通じて、証券規制の理論的な問題について検討を深める。	西暦奇数年度開講。
02FA619	租税法特論	1	1.0	1-3	春C	集中		小林 幹雄	国税徴収法の内容、すなわち実体法部分としての租税債権の優先権等、並びに手続法部分としての滞納処分手続等を中心として講義する。民事における債権回収手続である民事執行との比較も含めた内容となる。	非常勤講師
02FA620	イタリア法原典講読	1	1.0	1-3	通年	応談		弥永 真生	イタリアの会計、監査または民事責任に関する文献を講読する。講読する論文は受講者と相談の上、決定する。	西暦奇数年度開講。
02FA625	国際租税計画III	1	1.0	1-3					国際課税法についての欧米の重要文献(英語)を講読し、議論する。	西暦偶数年度開講。
02FA626	国際租税計画IV	1	1.0	1-3					国際課税の最先端のトピックの中で、租税条約に関する論点等、国際課税問題を論じる文献(英語)を講読する。	西暦偶数年度開講。
02FA627	株式会社法研究I	1	3.0	1-3	通年	応談		弥永 真生	株式会社法に関する外国法文献または日本語文献を講読する(早期修了プログラムの履修者が入学した場合のみ開講する。ただし、それ以外の博士後期課程の学生も履修可能)。	早期修了プログラム履修者対応科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA628	株式会社法研究II	1	3.0	1-3	通年	応談		弥永 真生	株式会社法に関する外国法文献または日本語文献を講読する(早期修了プログラムの履修者が入学した場合のみ開講する。ただし、それ以外の博士後期課程の学生も履修可能)。	早期修了プログラム履修者対応科目

専門科目【企業組織と金融分野】(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA701	現代株式会社法	1	1.0	1-3					現在進行中の会社法制の改正作業にも考慮を払いつつ、株式会社法における解釈上および法政策上の現代的諸問題を取り上げ、比較法的観点も考慮する。具体的なテーマの選択については、受講者と相談の上、決定する。	西暦偶数年度開講。
02FA702	企業組織再編と法	1	1.0	1-3	秋BC	木7		徳本 穰	敵対的企業買収等の企業組織再編の今日的課題について、わが国の法状況を米国等の法状況と比較しながら、検討を行う。	西暦奇数年度開講。
02FA705	現代信託法	1	1.0	1-3					信託法の講義を前提として、ライフプランニングあるいは財産の承継との関連での信託の利用、いわゆる商事信託、資産流動化という経済活動における信託の利用など、現代的な信託を巡る諸問題・トピックを取り上げる。	西暦偶数年度開講。 非常勤講師
02FA706	比較金融法	1	1.0	1-3					比較金融法関連文献を講読する。	西暦偶数年度開講。
02FA707	現代契約法	1	1.0	1-3					契約法領域における現代的トピックについて扱う。	西暦偶数年度開講。
02FA708	国際会社法	1	1.0	1-3	秋A	水7,8		大塚 章男	国際的な企業活動に提起される国内外の会社法上の現代的諸問題を、比較法的観点を入れつつ、検討を行う。	西暦奇数年度開講。
02FA713	現代民事金融法	1	1.0	1-3	秋A	金7,8			契約交渉・担保・弁済・債権譲渡・債権回収・債権保全などに関する最近の裁判例や文献に現れた民法解釈論上の問題を取り扱う。日本法のほか、ドイツ法の素材を取り扱うこともある。	

専門科目【情報テクノロジーと企業分野】(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA803	知的財産法による情報財保護	1	1.0	1-3					情報財保護法制という視点を中心に据えて今日の知的財産法全般における諸問題を取り扱う。講義形式としては最新の文献購読を基にした議論を基本とする。法解釈論に限ることなく、制度論、政策論等の多様な視点からの文献も検討することを視野に入れる。	西暦偶数年度開講。
02FA804	企業ノウハウと従業員	1	1.0	1-3	春ABC	集中		川田 琢之、平嶋 竜太	(川田担当部分)企業とその従業員との関係における企業ノウハウの保護をめぐる法的問題に関し、企業秘密保持義務、競争禁止義務などの労働法上の問題を中心に検討する。 (平嶋担当部分)企業ノウハウを、企業組織内に存在する経済的価値を有する情報財一般を包含する概念として広く捉えた上で、知的財産法各法による保護のあり方、各知的財産権の帰属を巡る課題、等を中心に検討することを予定する。	西暦奇数年度開講。
02FA805	電子社会と法	1	1.0	1-3	通年	集中			電子社会における国内外の法的な問題を取りあげて検討する。	開講未定
02FA806	現代知的財産法	1	1.0	1-3	秋C	土4,5		潮海 久雄	知的財産法(特許法、著作権法、商標法、不正競争防止法ほか)における現代の重要課題について、欧米との比較法をとおして検討する。	英語の文献を読めることが必要である。 西暦奇数年度開講。
02FA807	欧米知的財産法	1	1.0	1-3					欧米の知的財産法における問題点や近年の動向を検討する。	英語の文献を読めることが必要である。 西暦奇数年度開講。 2015年度開講せず。
02FA808	アメリカ的知的財産法	1	1.0	1-3					米国の知的財産法の法制度・裁判例について、英語資料を参照しつつ、比較法的検討を行う。	西暦偶数年度開講。
02FA809	比較知的財産法	1	1.0	1-3					知的財産法の制度・運用について比較法的検討を行う。	西暦偶数年度開講。
02FA810	知的財産法の現代的課題	1	1.0	1-3					知的財産法が抱える現代の諸問題を多角的に検討する。	2015年度開講せず。
02FA811	外国知的財産法	1	1.0	1-3	春AB	水7		潮海 久雄	知的財産法の国際的な問題点や近年の動向を検討する。	英語の文献を読めることが要件である。 西暦奇数年度開講

専門科目【社会・経済法分野】(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA903	比較労働法の基礎	1	1.0	1-3	通年	随時		川田 琢之	アメリカ合衆国、欧州等の外国の労働法に関する判例・文献の講読と適宜の解説を通じて労働法分野における比較法研究の基礎の習得を図る。	西暦奇数年度開講。
02FA904	現代社会保障	1	1.0	1-3	通年	集中			企業年金、医療保障、比較福祉国家論など社会保障における現代的テーマを取り上げる。	非常勤講師・開講未定

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02FA905	市場経済と競争法	1	1.0	1 - 3					独占禁止法(競争法)について理解を一層深めるため、主要な論点に関する内外の論文(外国当局のガイドラインを含む。)等の講読・議論を行うほか、適宜、独占禁止法(競争法)に関連した学生の研究テーマについて報告・議論を行う。	西暦偶数年度開講。
02FA911	現代社会保障法	1	1.0	1 - 3	通年	随時		渡邊 絹子	社会保障法における主要な問題を取り上げ、比較法的観点も考慮しつつ検討を行う。	